

乳房文化研究会 定例研究会

『母と子をつなぐ母乳哺育』

母乳哺育について、母乳中の成分と母子関係の形成という二つの視点から最新の研究成果をご講演いただき、子どもの発達において、よりよい母乳哺育環境とはどのようなものかを考える会を開催します。

日時：2013年 6月8日(土) 14:00～17:30

場所：(株)ワコール 本社 会議室

定員：100名(定員になり次第、締切ります) 参加費：無料

「母子栄養学から見た母乳哺育の新展開」

■成田 宏史 先生

(京都女子大学家政学部食物栄養学科 教授)

(コーディネーターより)

先生のご研究である「母乳による食物アレルギー予防の可能性」と最新の知見をご紹介いただき、授乳中の母親にとって「よい食事」とは何かを考えていきたいと思えます。



「人間らしさを育む授乳

—おっぱいを与える母性と子育ての発達進化—

■竹下 秀子 先生

(滋賀県立大学人間文化学部人間関係学科 教授)

(コーディネーターより)

ヒトの母乳哺育の特殊性を、先生がご研究されたチンパンジーなどとの比較からご説明いただき、母子関係の形成には、どのようなことをしたらよいかを考えていきたいと思えます。



パネルディスカッション

コーディネーター：廣瀬 潤子 運営委員／滋賀県立大学人間文化学部生活栄養学科 准教授

パネラー：成田先生、竹下先生

☆授乳中のお母さんも、乳幼児同伴でご参加いただけます。ただし、同伴のお子さまの状況により、いったん退室していただくこともあります。

乳幼児以上の幼児・児童の方のご同伴は極力ご遠慮ください。(詳しくは事務局までお問合せください)

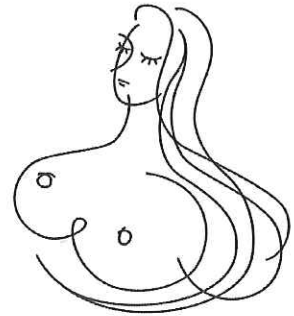
☆「託児」はしていません。

☆乳幼児を同伴される方は「乳幼児同伴」と明記の上、お申込みください。

問い合わせ先：乳房文化研究会事務局 (TEL 075-682-1178)

乳房文化研究会って何？

思春期、妊娠・出産期、閉経期などの女性のターニングポイントに大きな変化をみせる乳房をはじめ、女性の「からだ」と「こころ」をとりまく興味ある研究テーマを、多角的にとりあげています。医学、生物学、文化人類学、心理学、被服造形学、芸術など、さまざまな分野で活躍する専門家が集まり、専門分野からの提案や境界領域の問題についての情報交換をおこない、さらに各方面からの話題提供を受けながら、より広くより深く活発な議論を展開しています。



“女性の「からだ」と「こころ」を科学する”

乳房文化研究会

(株)ワコール 本社ビル アクセスマップ



※本社ビル
南側入口より
ご入館ください

所在地

〒601-8530 京都市南区吉祥院中島町29

会場へは、公共交通機関をご利用ください。
※JR・東海道本線「西大路駅」から徒歩4分
(西大路駅 改札を出て右手)

※一般来館者用の駐車場はありませんので、
電車・バスなどをご利用ください。

<電車>

京都駅から:JR京都線 普通電車で1駅
大阪・新大阪駅から:JR京都線 快速・新快速
→ 高槻で普通電車に乗り換え

<バス>

京都市バス 202 208 13 43系統
「西大路駅前」下車 徒歩4分

●お申込み方法

下記申込書をご利用いただくか、住所、氏名（学生はその旨）をご記入のうえ（複数申込みの場合はそれぞれの連絡先をご記入いただき）郵送、ハガキまたはFAXにて 5月30日(木)までに下記事務局へお申込み下さい。
お申込み順に参加証を送らせていただきます。

※お申込みに関する書類は、次回研究会のご案内をさしあげますまで厳重に保管し、終了後適切に破棄いたします。

送付先：乳房文化研究会 事務局

〒601-8530 京都市南区吉祥院中島町29 (株)ワコール 内 FAX 075-682-1037

URL <http://www.wacoal.jp/c/nyubou-bunka/>

参加申込書

定例研究会「母と子をつなぐ母乳哺育」(2013年6月8日(土)開催) 参加希望 学生の方は「ッ」印をして下さい

●お名前

●ご住所 〒 -

FAX 075-682-1037